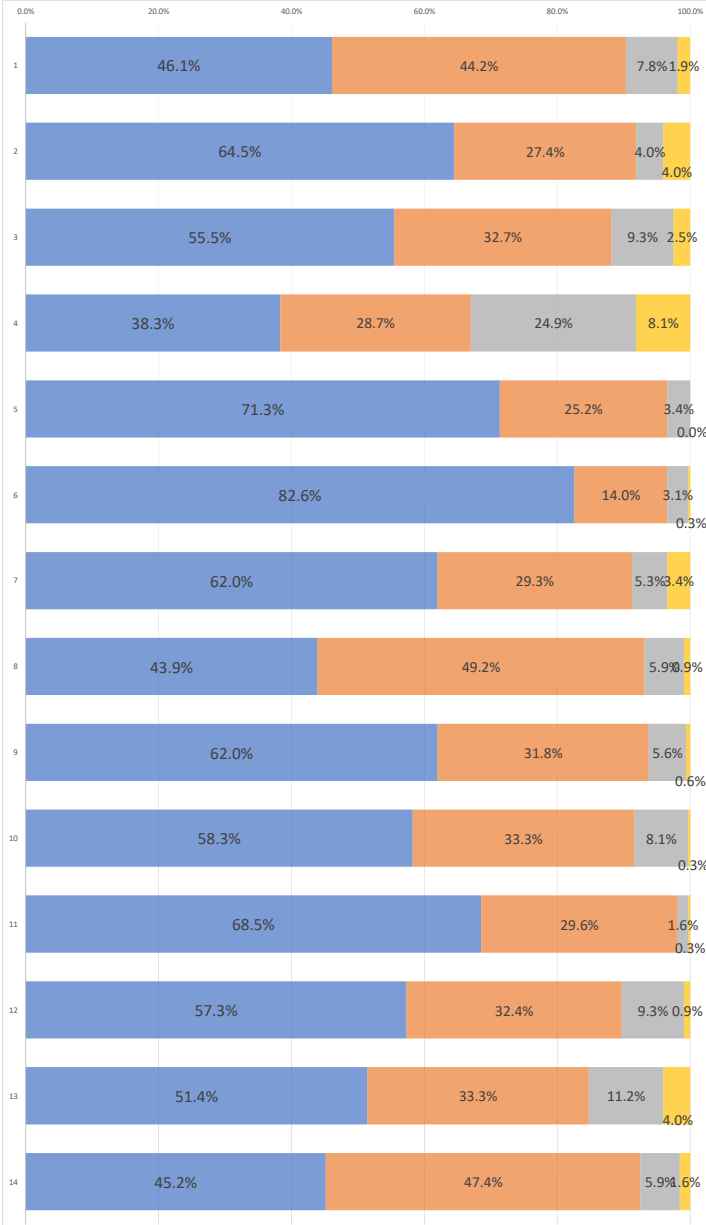


我孫子市立湖北小学校 令和6年度 「よりよい学校づくりアンケート」学校評価アンケート（児童）

		そう思う	大体 そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	「やさしく かしく たくましく」の合言葉を意識して生活していますか。	46.1%	44.2%	7.8%	1.9%
2	友達に意地悪や嫌なことを言ったり、やったりせずに仲良くしていますか。	64.5%	27.4%	4.0%	4.0%
3	給食は、好き嫌いなく食べていますか。	55.5%	32.7%	9.3%	2.5%
4	すすんで読書活動に取り組んでいますか。	38.3%	28.7%	24.9%	8.1%
5	先生は、丁寧に相談にのったり、教えたりしていますか。	71.3%	25.2%	3.4%	0.0%
6	先生は、熱心に授業に取り組んでいますか。	82.6%	14.0%	3.1%	0.3%
7	学校に楽しく通っていますか。	62.0%	29.3%	5.3%	3.4%
8	学校での勉強の内容はよくわかりますか。	43.9%	49.2%	5.9%	0.9%
9	学校行事や学習活動に進んで参加していますか。	62.0%	31.8%	5.6%	0.6%
10	困っているひとに声をかけたり、助けたり、人が嫌な気持ちにならないように生活していますか。	58.3%	33.3%	8.1%	0.3%
11	地域の人に迷惑をかけず、公共の場でマナーを守って生活していますか。	68.5%	29.6%	1.6%	0.3%
12	自分からすすんで挨拶をしていますか。	57.3%	32.4%	9.3%	0.9%
13	学校に来る時間、遊びから家に帰る時間、ゲームやスマートフォンなどを使う時間を守ることができていますか。	51.4%	33.3%	11.2%	4.0%
14	正しい言葉づかいで生活していますか。	45.2%	47.4%	5.9%	1.6%



＜アンケートの結果から＞

- 1の質問の湖北小の合い言葉を意識して取り組んでいる児童は、前年とほぼ同様である。
- 2の質問の仲良く生活している児童は、91.9%と、大半の児童が問題なく学校生活を送れているようである。
- 3の質問では、消極的な回答をした児童が11.8%いて、食に関して苦手意識があることがわかる。
- 4の読書活動の質問では、肯定的な回答が前年度よりも若干増加している。
- 5の教育相談の取り組みについては、好意的な回答が96.5%で、職員への対応はおおむね良い状況である。
- 6の学習指導については、96.6%の児童が、好意的な回答をしている。
- 7の学校に楽しく通っているかの質問には、8.7%の児童が消極的な回答をしている。
- 8の学習内容の理解は、93.1%とおおむね良好だが、約7%の児童が学習に対してのつまずきがあることがわかる。
- 9の学校行事・学習活動については、93.8%の児童が積極的な回答をしている。
- 10の他者への配慮や理解については、多くの児童が意識をもって取り組んでいる。
- 11では、学校外でも意識して生活していることがわかる。
- 12の挨拶の励行については、他の回答と比較すると10.2%と若干消極的な回答が多いことがわかる。
- 13の時間を守ること、14の言葉づかいについては、多くの児童が意識して生活していることがわかるが、意識して生活できていない児童もいる。

＜成果と課題＞

全体的に多くの質問で肯定的な回答をした児童が多い。学校としての取り組みや指導内容を理解し感じとっているからこそ「そう思う」「大体そう思う」という回答の増加につながっていると思われる。今後も児童に寄り添った指導・支援を行い、さらなる成長のために力を尽くしていきたい。一方で、学校生活に消極的な回答をしている児童も少なからずいる。日々の生徒指導や教育相談の充実を図り、前向きに学校生活全般を送れるように職員一丸となって指導・支援を行いたい。

読書活動については、前年度よりも前向きに取り組んでいる児童が若干増えた。本校では、国語の研究による読書の推進と定期的な移動図書館の利用で読書への関心が高まるように取り組んでいるので、次年度も継続していく。

挨拶の励行や時間を守る、正しい言葉遣いについては、消極的な意見があることを受け止め、日々の生徒指導や学校だより、学年だより、ホームページ、スクリーンなどを通じて家庭の協力を求め、家庭・地域・学校と連携して、それぞれの意識が高まるようにしていく。